

ニーズの整理表（例）

グループ
利用者名 福祉 知朗さん

No.	サービス等利用計画で整理された解決すべき課題 (本人のニーズ)	初期状態の評価 (利用者・環境の状況)	支援者の気になること・推測できること (事例の強み・可能性)	願いや希望を満たすための 具体的な到達目標
	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	知的障害（軽度） 障害支援区分3 小学3年生から情緒支援の特殊学級に移り、中学進学の際、児童相談所で軽度の知的障害の判定を受けた。	自立した生活のイメージは持っていない様子だが、「いずれ自分のことは自分でできるようになりたい」と思っている。	○掃除や洗濯、調理など自分でできることを増やしていきたい。
	今は働くことに自信がないので、そのための力をつけたい。	特別支援学校高等部卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと1年間働いたが、上司が代わってからは不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしていた。	「今は働くことの自信はないので力をつけたい」、「一人コツコツと集中できる作業が好き」と就労意欲はあるが、自信を失っている。「朝もなかなか起きられない」ことを自覚している。	○朝起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようになりたい。
	困りごとは相談したい。	困りごとがあっても相談できない。面倒見の良い人がいると素直になって長続きする。	相手の話はなかなか理解できない。丁寧に教わると安心できる。	○生活上のわからないことや困りごとを相談できるようになりたい。
	楽しみを見つけない。	趣味は昆虫の図鑑を見ること、手先が器用なので木工が好き。お菓子やケーキなどの買い物が好き。	好きなことは集中して取り組むことができる。「一緒に遊ぶ友達が欲しい」、「昆虫の話ができる友達ができれば最高」と思っている。	○楽しみを見つけない。